

絵本 全ページ

(安全委員会表記は最終頁)



ここは とあるガスを おいている いえ
あれあれ ガスが なにか はなしを
しています。

「はあ、まいにち まいにち
つまらないな・・・。」

と プロパンガスの
がすぎぶろうが つぶやいています。



どうしたんだ？
がすぎぶろう？

と ちちの
がすいちろうが
たずねます。

「ぼくたちは いつも おんなじところに たってるだけでしょ？」

「ほいくえんの こどもたちみたいに
かけっこをしたり、
サッカーをしたり、
ブランコをして ぼくも
あそんでみたいよ。」

はあ～
うらやましいな・・・。」

がすぎぶろうは
なみだを ながしました。

「そうか。 でもな
がすぎぶろう・・・。」



「ガスけつに なってしまった
ちょうろうの がすざえもんが
いつも いってたで？」

「なあ がすざぶろう、
よのなかには おまえを
ひつようとしている
ひとも いるんやで。」

プスッ
カスッ

スー

「うん、
いつも いってた。
でもな・・・。」



そこに ほいくえんの
こどもたちが やってきました。
「あっ！ガスみつけた！！」
「せんせい プロパンガス
2こも あったで！」

こどもたちは プロパンガス
みつけて
およろこびです。

がすざぶろうと
がすいちょうは、
びっくりしました。



せんせい しってる？ プロパンガスってな、
ごはん つくるときに つかうんやで！

と こうきくんがいました。



ほかにも おふろ わかしたり
するのにも つかうんやで！

と さおりちゃんが
とくいげに

いました。



りょうた プロパンガス すき。

と りょうたくんが
いました。





がすざぶろうは ちいさな こえで いいました。

滋賀県LPガス協会
LPガス安全委員会

ぼく プロパンガスで よかった。

